



# 〇〇〇・厚生員の集い・〇〇〇〇

金沢市児童館児童厚生員会

No.218  
2021.12.13



コロナ禍でいろいろな制限がある生活が続いています。  
8月2日～9月30日までは、金沢市に「まん延防止等重点措置」が適用され、児童館でのイベントや教室等も中止や延期となりました。

今まで当たり前できていたことが難しいという日々の中、子どもたちはどのような気持ちでいるのか、子どもたちの声を聞いてみたいと思い、「コロナが終わったら何したい?」という質問を子どもたちに投げかけてみました。

「まん延防止等重点措置」が解除された10月に、5ブロックの各児童館の子どもたち576人に問いかけをし、付箋に記入してもらいました。  
それを集計したものをランキング付けしました。またそこからわかることを考察し、今後の児童館の役割についてをまとめました。



1位、2位、3位、4位、5位それぞれの票数をもとに高さの比率を合わせて木を作り、子どもたちに書いてもらった付箋を貼りました。番外編は小さな双葉になっています。  
「〇〇に行きたい」と答えた子どもたちの声の多さがわかります。

**1位**      **2位**      **3位**      **4位**      **5位**      **番外編**

- …三和
- …二塚
- …西南部
- …米丸
- …安原
- …新神田

## ～コロナが終わったら何したい? ランキング～

### 1位 ～〇〇に行きたい～ 384 票

- ・ディズニーランド 74人
- ・家族と旅行・温泉、プール 各56人 ・USJ 48人 ・遊園地 24人 ・外国 20人
- ・ゲームセンター、カラオケ、映画 19人 ・水族館 17人 ・ホテル 14人
- ・動物園・外食・海 各6人
- ・恐竜博物館・どこでも行きたい 各5人
- ・お祭り 4人 ・公園・白山イオン・昆虫館 各3人
- ・プラネタリウム・スタジアムに行って野球を見たい・レゴランド 各2人
- ・ポケモンセンター・ドラえもんミュージアム・ミライノ・STPR株式会社
- ・ゴルフに行きたい・ライブに行きたい・空手の大会・遠くの犬を見に行き・宇宙 } 各1人

### 2位 ～〇〇したい～ 73 票

- ・キャンプ 29人 ・マスクを外して遊びたい 26人 ・釣り 7人 ・サッカー 3人
- ・できなかったことができるといいな・野球・ボクシング
- ・トランポリン バッジテスト ・バスケの県大会 ・テニスの試合 } 各1人
- ・また家族で過ごしたい ・みんなで一緒に幸せに暮らしたい

### 3位 ～友だちと〇〇したい～ 57 票

- ・遊びたい(友だちの家など) 45人 ・お泊り 12人

### 4位 ～児童館、児童クラブでしたいこと～ 40 票

- ・バス遠足 14人 ・お泊り会 10人 ・夏祭り 4人 ・映画を見たい 3人
- ・ドッチボール大会 2人
- ・1、2年で合宿 ・エンゼルランドに行きたい ・キャンプ
- ・児童クラブでハワイに行きたい ・ロッククライミングをいっぱいしたい } 各1人
- ・みんなでおいしいねと言いながらご飯を食べたい ・すぐろくやコマがしたい

### 5位 ～〇〇に会いたい～ 21 票

- ・おじいちゃん・おばあちゃん 12人 ・いとこ 5人・ユーチューバー 3人
- ・単身赴任のお父さん 1人

～番外編～ ・ありません 1人



## ～「コロナが終わったら何したい？」考察～

- 子どもたちにアンケートをとった際、迷わずすぐにあんなことしたい、こんなことしたいと意見が出てきたことに驚いた。
- 「友だちと遊びたい」が46票もあり、コロナで友だちと遊べない時期を過ごしているのだと改めて実感した。
- お友達とおしゃべりしながらご飯や給食を食べたりなど、学校生活においてもあたりまえの事が許されない状況を子どもたちなりに理解し、受け入れていたんだなと思ったのと同時に、子ども達の対応能力にも気づかされた。
- 家庭や学校、児童館、児童クラブ等での楽しみにしていた行事やイベントが中止となったことから、「〇〇がしたい！」という強い気持ちの表れにつながっている。
- 「家族で…」というワードが入った結果も多くみられた。
- プールや温泉は二番目に多く、今年度の夏にまん延防止が重なったこともあり、プール施設などで夏を満喫できなかった事が結果として出ていると感じた。
- ステイホームや県をまたぐ移動の自粛を余儀なくされていたため、(行き先は様々だが)「〇〇に行きたい」が多数という予想通りの結果となった。コロナ禍になってから、子どもたちが外出を控えていることが分かる。
- 大人は感染が拡大する生活が長引くと、できなくなったことを思いストレスになる事が多いように思うが、子どもたちは適応能力が高いのと、大人ほど感染拡大前の体験が多くない事で、「新型コロナウイルスが収まったら何をしたい？」と問いかけたときに、「何かあるかな…」と悩む子が多いように感じた。中には「コロナの生活に慣れたし何も無い」と言い、そのまま「何も無い」と書く子もいた。
- “思いっきり遊びたい” “大声で叫びたい” などから、強く抑えられている印象を受けた。子ども達はやはり我慢や制限を感じながら過ごしているように思う。サッカーや野球をしたい、おしゃべりをしたいといった当たり前のよう感じる事までできていないのだなと思った。その一方で、制限の中でできることに目を向けて、日々を楽しもうとしている。特に、外での活動や家族単位での活動が多かったように感じた。
- 「マスクをとって遊びたい、大きな声で遊びたい」という声は、マスク生活に慣れつつある、私たち皆の本当の心の叫びだと思った。
- 外出や、人と会うことを制限されるだけで子ども達がこんなに多くの事を我慢していたんだなという事に改めて、気づかされた。またコロナウィルスが終息してマスクを外して友達や家族と今まで通りの生活ができることを凄く期待して待っているんだなと思った。
- 今回の企画で子どもたちの思いを知り、普段過ごす中でこのような意見をあまり耳にすることが無いので、当たり前に出ていたことが出来ない現状を、子どもたちなりに理解し、我慢しながらの生活を送っていると感じた。

## ～今後の児童館の役割～

### <米丸児童館>

児童クラブの行事で春休みや夏休みに映画鑑賞に行っていた。子ども達にとって友達と一緒にバスに乗り大勢で行く映画鑑賞がこんなにも印象深い行事と改めて気付かされた。行事がコロナで中止や延期になることがあったので、これから行事を計画する際は感染が拡大した場合でも実施出来るパターンを何通りか考え、常に子どもの声に耳を傾け子ども達にも理解してもらいながら進めて行くことが大切と思った。

### <安原児童館>

「キャンプに行きたい」という意見が、他の児童館に比べて安原児童館の児童に多かった。これは、8月上旬に予定していた行事のキャンプが、まん延防止等重点措置の適用により、直前で中止になったためだと思われる。代替企画として、館内や周辺で出来るウォークラリー等を行ったが、例年通りの形で行事をしたかったという気持ちや、行事を楽しみにしていたことが伝わってきた。今回知ることが出来た子どもたちの気持ちに寄り添えるよう、児童館として新しい生活様式の中でも出来る遊びや行事の形を模索し取り入れていきたい。

### <新神田児童館>

アンケートの結果から、児童館・児童クラブで楽しかった行事をまたやりたいという児童も1割弱いることにも注目し、児童の声や意見を聞いて、感染予防対策を行いながら、コロナ禍で出来なかった児童館行事を少しずつ復活させてあげたい。また、日常生活では祖父母やいとこなどに会いたくても会えなかったり、お友だちの家に行って遊べない、など思うように人と会えないことが続いていたことも子どもたちの声から知ることができた。これからも子どもたちが安心して遊べる場の提供をすると共に、人と人との交流の場として、子どもたちが心を満たせるような行事を行っていきたい。

### <三和児童館>

子ども達の中には、やはり「思いっきり遊びたい」「大声で叫びたい」という気持ちがあり、状況に合わせて感染対策も行いながらですが、少しでも発散できるようにしていきたいと思った。児童館でしたいことでは、行事や遊びが多くみられ、楽しみにしている気持ちが強くうかがえたため、積極的に行っていきたい。

### <二塚児童館>

コロナ禍で子どもも大人同様たくさん我慢していると思うが、大人が思うより子供は環境に柔軟に適応する力があることが分かった。しかし、子どもは本来、人と関わることで成長していくところも多いと思うので、私たち厚生員はマスクで相手の表情が見えないこと、人間関係が希薄になっているところにも気を配り、子どもの健やかな成長を見守っていくこと、閉ざされた中で子育てしている保護者にも悩みや不安を解消できる場を提供し、寄り添っていきたい。

### <西南部児童館>

with コロナの時代へと移り行く中で、児童館でも行事をすぐに中止するのではなく、感染対策をしっかりと行いながら実施する方向に考え方を考えていく事が大切なのではないかと思う。又、今まで様々な制限を強いられていた子ども達が“児童館に行ってくる。”と言え、“行ってらっしゃい。”と保護者も応えられる安心、安全な場所でありたいと思う。そして、行事を通して幼児からお年寄りまでと一緒に楽しめる様な企画も考えていきたいと思う。